

# CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 15 No.3 2013年2月15日号

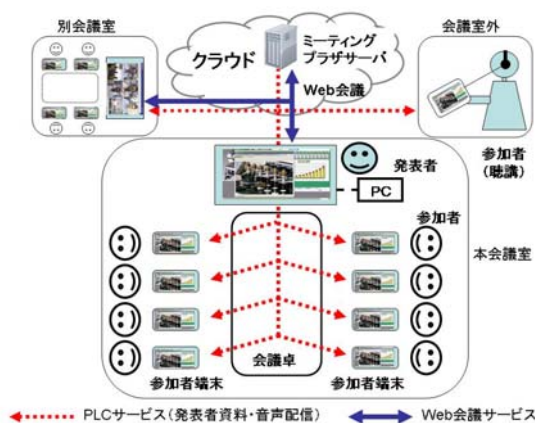
編集: [editor@cnar.jp](mailto:editor@cnar.jp) 広告: [pr@cnar.jp](mailto:pr@cnar.jp) 読者登録: <http://cnar.jp>

Copyright 2012 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

### NTT アイティ、音声も伝える多地点ペーパーレス会議を新発売

NTT アイティ株式会社(横浜市中区)は、多地点ペーパーレス会議「ミーティングプラザ PLC(PaperLess Conference)」を2月4日より発売すると発表。(1月16日)



#### ミーティングプラザ PLC の構成 (NTT アイティ 資料)

ミーティングプラザ PLC は、多地点に散在する会議参加者端末に、発表者資料や音声を配信するサービス。オンプレミス版も提供する。iPad、iPhone、Android タブレット/スマートフォン、Windows PC、Mac に対応(詳細は同社に確認要)し、社内会議、公開の講演会、Web セミナー、大学の講義など幅広い範囲で使用できるという。

このサービスでは、発表者資料だけを配信する「タイプ A」、発表資料と音声を配信する「タイプ B」、また、タイプ A もしくはタイプ B に、Web 会議をそれぞれに組み合わせる「タイプ C(AとWeb 会議)」と「タイプ D(BとWeb 会議)」の4種類のサービスを提供する。

タイプ A は、一地点の会議室内での用途や電話会議・電話案内との組合せ、資料配付を想定しており、タイプ B は、会議室外からの会議視聴、講演、Web セミナーを想定している。一方、タイプ C とタイプ D は、Web 会議で接続さ

れた地点の参加者は全員発表者となることが可能となっている。

このサービスの仕組みとしては、発表者が PC 画面上に表示したマイクロソフト社のパワーポイントなどの発表資料を、一旦クラウド内のミーティングプラザサーバに画像イメージとして自動保存。その後、本会議室の参加者端末に配信されるようになっており、発表者が発表資料を修正・編集すると参加者の画面に即座に反映される形。

一方、参加者は、タブレットなどの端末で汎用ブラウザを利用(ソフトの事前インストール不要)し、ページ送り機能により、資料を自由にさかのぼって閲覧することが可能。また閲覧に際して参加者は、メール、Web による URL、QR コードから発表者の資料と音声配信を取得することができるようになっている。

ページ送りの利用/利用不可については、発表者が自由に選択することができる。また、情報漏洩の防止の観点から、参加者側のタブレットなどの端末には資料は保存されないようになっている。

ミーティングプラザ PLC サービス価格(例)は以下の通り。資料・音声配信 10 地点、Web 会議 5 地点、使用時間制限なしの場合。初期費用については、タイプ A から D まで同じ 30,000 円(別途税、以下同)。ただし、月額料金が変わる。タイプ A:15,000 円、タイプ B:25,000 円、タイプ C:60,000 円、タイプ D:70,000 円。そのほか、追加オプションもある。資料配信:50 地点毎 15,000 円/月 1 回(連続 8 時間まで)。資料・音声配信:50 地点毎 25,000 円/月 1 回(連続 8 時間まで)。これは、月 1 回以上会議を開催する場合の料金となっている。

NTT アイティが提供する「ミーティングプラザ」は、3,000 社を越える導入実績をもつ Web 会議サービスという。今回発表されたミーティングプラザ PLC の販売目標は、年間 500 契約。

## パイオニアソリューションズのサイバーカンファレンスシステム・プライム、iPad と iPhone に対応

パイオニアソリューションズ株式会社(神奈川県川崎市)は、遠隔会議システム「サイバーカンファレンスシステム・プライム (CCS-Prime) モバイル端末対応版 (バージョン 1.09) を発表。(1月21日)

今回対応するモバイル端末は、「iPad」と「iPhone」(iOS 5.1以上)。これにより、これまでのCCS-Primeによる離れた場所間での会議開催に加え、モバイル端末を使って社外から会議に参加したり、動画やデータ資料を共有したりすることができるようになった。

主な特長としては以下の通り。(1)外出先から簡単に会議に参加可能。その際には、モバイル端末用の専用アプリケーション(AppStore からダウンロード)を使用する。(2)モバイル端末で遠隔地の会議資料の閲覧や双方向の音声会話が可能。加えて、モバイル端末で撮影した静止画データを資料として共有することもできる。(3)モバイル端末側で資料の拡大表示や書き込みが可能。ピンチ操作で拡大表示やフィンガーツールで書き込み。

想定される使用事例としては以下の通り。

(1)外部でモバイル端末を用いた工事・メンテナンス作業。現場で撮影した写真を本部へ送信したり、同じ画面を確認したりしながらポインティングや会話が行える。現場との正確かつスピーディーなやりとりが可能になる。

(2)社外での商談・打合せにおいて、モバイル端末を通して社内から専門スタッフが資料を使いながら詳しく説明するなど現場のサポートが行える。その場で顧客の不明な点を解決したり訴求効果を高めたりすることができるほか、専門スタッフ一人で複数の商談・打合せのサポートを行うこともできる。

(3)社内の決裁者が外出先からモバイル端末で会議に参加し決定・承認を行うことができる。意思決定スピードを向上できる。

今回の発表に際して、パイオニアソリューションズでは、

サービス提供を2月初旬より開始するとしている。価格はオプションプライス。

## VTV ジャパン、コールサポート(時間延長)サービスの提供を開始

VTVジャパン株式会社(東京都千代田区)は、自社保守サービス「VTV Care(ヴィティヴィ・ケア)」の新サービスとして「コールサポート(時間延長)」サービスの提供を開始した。(1月29日)



コールサポートイメージ写真 (VTV ジャパン資料)

VTV ジャパンが提供するVTV Careの製品基本保守サービス「VTV Basic Care」には、コールサポートが付帯している。これは、同社の専任スタッフが、テレビ会議に関するさまざまな問い合わせに電話で対応するサービス(対応時間:平日9時から17時30分)。

今回、コールサポート(時間延長)を追加オプションとして提供することで、VTV Basic Careを利用する顧客は、これまでの対応時間を8時30分から20時30分まで延長して利用できるようになる。

これにより、時差がある海外拠点との会議などで、早朝や夕方以降のテレビ会議利用が多い顧客にも安心して利用できるようになる。

コールサポート(時間延長)サービスは、土日祝日および同社指定日を除く平日8時30分から20時30分まで対応する。加入方法は、VTV Basic Careに加入の上、本オプションサービスを申し込む形。費用については、保守対象製品により異なる。

VTV ジャパンは、1995 年設立以来、テレビ会議・Web 会議システムの機器販売およびレンタル、同システムに関する保守サービスに特化したテレビ会議のマルチベンダー。全国各地や海外のさまざまな法人・団体への導入実績があるという。自社独自開発によるテレビ会議カスタマイズソリューションの提供も行っている。

## 製品・サービス動向-海外

### Media Network Services 社、SaaS 型ビデオ会議サービス正式開始

ノルウェーの Media Network Services 社(MNS)は、MNS グローバルネットワークサービス「MCU1.com」を正式に開始した。(1 月 10 日)

2012 年 10 月 30 日にベータ版として発表され、100 ユーザ以上のベータテスト参加者による試行サービスが成功裏に終了したのを受けて正式にサービスを開始した。

MCU1.com サービスは、ソフトウェアベースの HD 対応ビデオ会議 MCU。ビデオ会議サービス提供事業者もしくはリセラーを通して SaaS(Software as a Service)として提供される。すでに MCU1.com は、南北アメリカ・アジア太平洋・ヨーロッパにおいて稼働を始めている。

MCU1.com は、サービス提供事業者・リセラーまたはエンドユーザーにとって、ウィンウィン状況を作り出すと当社では期待する。サービス提供事業者・リセラーにとっては、サービスラインナップの強化や導入・利用促進につながり、また一方でユーザーにとっては、初期導入費用をおさえ簡単にビデオ会議が始められるメリットがあるという。

同社では、MCU1.com サービス以外に、LinkedIn と連携したソーシャルコミュニティ型ビデオ会議サービス「VCdial.com」も提供している。

## ビジネス動向-海外

### LifeSize、マイクロソフト社の Microsoft Lync との相互接続性の拡張

Logitech 社の LifeSize 部門は、マイクロソフト社の Microsoft Lync との相互接続性の拡張を行ったと発表。

(2012 年 12 月 12 日)

LifeSize 部門は、これまでマイクロソフト社のユニファイドコミュニケーションソリューションとの連携を深めてきた。

まずは、2011 年の初め頃、LifeSize 部門は、マイクロソフト Lync ビデオ相互接続性プログラム(Microsoft Lync Video Interoperability program)のメンバーになり、「Microsoft Office Communications Server 2007」との相互接続を発表した。

また 2012 年に入り、LifeSize 部門は、Lync に対応した「LifeSize UVC Video Engine for Microsoft Lync」を発表。これは、RTV ビデオコーデックのトランスコードを行う機能を持たせており、「LifeSize 220 シリーズ」「LifeSize Unity シリーズ」「LifeSize Passport」が対応した。

### LifeSize の「LifeSize UVC プラットフォーム」、VMware Ready ロゴを取得

Logitech 社の LifeSize 部門は、「LifeSize UVC プラットフォーム」が、VMware 社の仮想化ソリューション対応に関して「VMware Ready」ステータスを取得したと発表。(2012 年 12 月 19 日)

LifeSize UVC プラットフォームは、VMware Ready ロゴを取得したことになる。VMware 社のウェブサイト情報(日本語)によると、VMware のテストに合格もしくは VMware が定めた基準を満たしているパートナーのハードウェアおよびソフトウェア製品に付与されるとしている。

### Arkadin 社、北米本部をニューヨークからアトランタへ移設

フランスの Arkadin 社は、同社の北米本部をニューヨークからアトランタに移設したと発表。(2012 年 12 月 17 日)

今回の移設には、コラボレーション・UC サービス市場が拡大するアメリカおよびカナダにおける同社事業の急速な成長をさらに加速させる目的がある。このアトランタは、当社が必要とする人材が豊富であるとともに、アメリカ国内でも有数の大きな国際空港もある。それらにアクセスするには十分なアトランタの商業地区に新しい本部を開設した。長期的な成長が期待できるという。

北米の本部があったニューヨークは、アメリカ北東部エリアのマーケティング、セールスなどを含めたオペレーションを行う地域ハブとしての役割を持つことになる。

### Arkadin 社、 ブラジル・メキシコ・ポーランドに同社事業所を開設

フランスの Arkadin 社は、ブラジル・メキシコ・ポーランドに同社事業所を開設したと発表。(プレスリリース発表日:ブラジルとメキシコは1月9日、ポーランドは、1月14日)

事業所開設の背景は、それぞれの国での今後の市場の成長性にある。

ブラジルにおける Web 会議(以下、収益ベース)については、2011年から2013年にわたり54%の成長が、また一方で電話会議については、同期間で72%の成長が予想されている。(米 Wainhouse Research 社データ)

メキシコの Web 会議市場については、2011年から2013年にかけて45%の成長が、また音声会議については、同期間で73%の成長が予想されている。(米 Wainhouse Research 社データ)

ポーランドにおいても、Web 会議および電話会議について強い需要が見込まれている。Web 会議市場については、2015年までに3倍の成長が、また、音声会議については、2016年までに26.9%の成長が予想されている。西欧より東欧諸国の伸びは大きいという。(Frost & Sullivan)

これらの国々では、「Arkadin Anytime」「Arkadin Express」「Arkadin Anywhere」「Arkadin Event」「Cisco WebEx by Arkadin」の各サービスが提供される。加えて、ローカルサポートについては、グローバル企業でありながら、それぞれの国の顧客対応をしっかりと現地出身の社員が対応するとしている。

なお、ブラジル事業所開設についてのプレスリリースについては、サンパウロオフィスに15名の社員が配置されており、今後需要増に応じてスタッフの増員も予定されている。また、「Arkadin Video」の提供についても言及されている。

Arkadin 社としては、2013年中には、チリ、コロンビア、

アルゼンチン各国の事業所開設を予定している。

### ACT Conferencing 社と Vidtel 社、クラウド型ビデオ会議サービスで戦略的提携

米 ACT Conferencing 社と米 Vidtel 社は、クラウド型ビデオ会議サービスで戦略的提携を行った。(1月22日)

来月 ACT Conferencing 社から提供される新しいクラウドサービスのプラットフォームとして Vidtel 社のビデオ会議サービスを採用する。Vidtel 社のクラウド型ビデオ会議サービスは、H.323、SIP、Skype、GoogleTalk、WebRTC に対応しており、ACT Conferencing 社によると、同社のチャネルパートナーから柔軟性や使い勝手のよいテレビ会議サービスへの需要が高まっていたという。

### Providia Conferencing 社、香港に VNOC を開設しアジアに UC ソリューションを提供

米 Providia Conferencing 社(カリフォルニア州キャマリロ)は、香港に、ビデオネットワークオペレーションセンター(VNOC)を開設すると発表。(1月18日)

同社は、アジア太平洋地域で急成長するグローバル企業の顧客層からのニーズに応えるため、今回香港の VNOC 開設に至った。

Providia Conferencing 社は、SPS Company 社の子会社で、ビデオ会議、コラボレーション・テレプレゼンスソリューションを提供するプロバイダー。1999年の設立以来、金融、商業、法律、エンターテインメント、ヘルスケア、教育など6,000以上の顧客にサービスを提供する。事業所は全米をはじめ国外ではイギリスにオフィスがある。

今回、新たに加わった香港のほか、カリフォルニア州ホーンズ、ニューヨーク州ニューヨーク、カナダ・トロントを含むその他の地点にある4ヶ所のVNOCを通じて、世界規模でホステッド/マネージド/ネットワーク会議サービスを運営している。

加えて、マネージドサービスには、多地点接続、ゲートウェイ(ISDN、Skype、Google Talk など)、クラウド(パブリック/プライベート)を通じたホスティングが含まれており、端末やネット

ワークの監視、テクニカルサポート、Web による会議予約、自動呼び出し(ダイヤルアウト)、オンネット通話サービスなどを提供している。

## Vidyo 社のビデオ会議技術、医療向けのソリューションを提供する HealthSpot 社が採用

Vidyo 社は、同社のビデオ会議システム技術が、HealthSpot 社に採用されたと発表。(1月8日)

医療向けのソリューションを提供する HealthSpot 社は、同社の遠隔医療システムと Vidyo 社のビデオ会議システム技術を組み合わせることで、医師と患者がお互い遠く離れていても、高品質な医療サービスを提供するソリューション「HealthSpot Station」を発表した。

HealthSpot Station は、Vidyo のビデオ会議システムと各医療装置を組み合わせ遠隔の患者へ医療サービスを提供できるウォークインキオスク。インターネット接続があれば、病院、薬局、空港、学校、職場、ショッピングモールなどどこでも HealthSpot Station を設置できる。また、ビデオ会議によって、遠隔地であっても医師と患者との良好な関係を可能にするという。

## 市場動向

### シード・プランニング、ビデオ会議/Web 会議/音声会議のビジネス利用実態を調査、会議以外の利用が 40%も

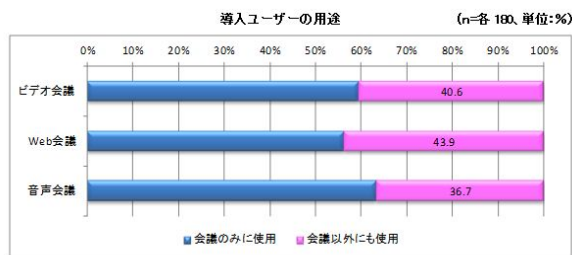
株式会社シード・プランニング(東京都文京区)は、ビデオ会議/Web 会議/音声会議のビジネス利用実態を調査し、このほど結果をまとめた。(1月8日)

この調査は、2004年10月から毎年実施しており、今回で8回目。ビデオ会議/Web 会議/音声会議をよく利用するビジネスマン(540名)を対象に、導入理由、利用頻度・時間、利用拠点数、使っている機能・画面分割、導入効果、会議以外の用途などをインターネットで調査(2012年10月-12月)するとともに同社のデータベースを活用した。過去7回の調査と時系列比較分析を行うとともに、今一番話題にな

っている事項を質問事項に追加しながら、質問項目の大幅な見直しを行った。

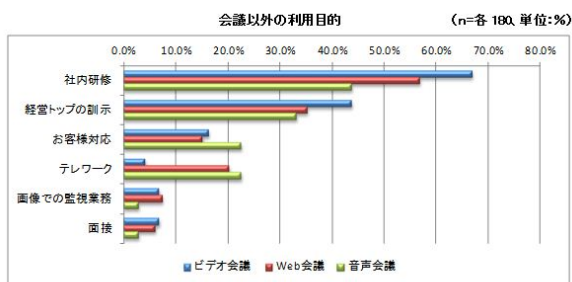
今回の調査でハイライトとした点は3点ある。

(1)導入ユーザの用途は、「会議のみ」が60%、「会議以外にも使う」が40%。つまり、業務そのものに使う割合が増加したことになる。その中で、社内研修や経営トップの訓示がとりわけ多い用途だった。



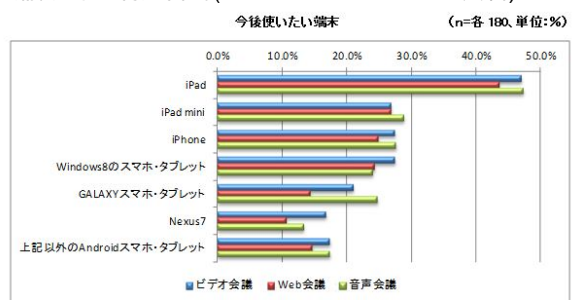
(シード・プランニング作成)

### 導入ユーザーの用途(シード・プランニング資料)



(シード・プランニング作成)

### 会議以外の利用目的(シード・プランニング資料)



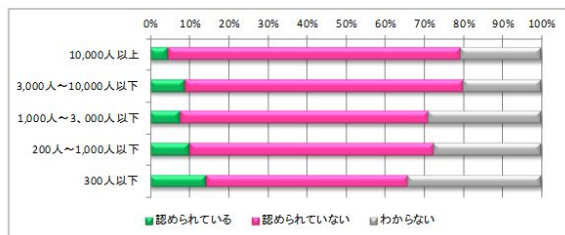
(シード・プランニング作成)

### 今後使いたい端末(シード・プランニング資料)

(1) 今後使いたい端末は、iPad。これ以外では、「iPadmini」「iPhone」「Window8 スマホ・タブレット」の順番。  
 (3) 回答者の所属する企業・団体において、BYOD による社内ネットワークへの接続が認められているか否かを尋ねたところ、従業員が少ない企業ほど認められている傾向となっている。加えて、会議システムの種類別にみると、Web 会議利用者が所属する企業・団体でやや高い傾向が見られた。

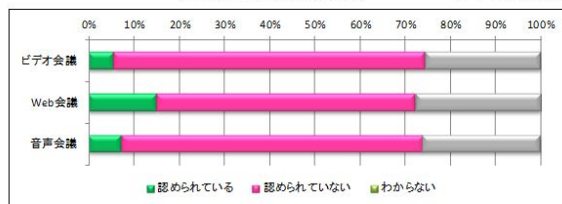


企業規模別 BYOD 認可傾向 (n=540, 単位:%)



(シード・プランニング作成)

会議システム別 BYOD 認可傾向 (n=各 180, 単位:%)



(シード・プランニング作成)

## 企業規模別 BYOD 認可傾向・会議システム別 BYOD 認可傾向 (シード・プランニング資料)

本調査結果の詳細は、調査研究レポート「2013 ビデオ会議/Web 会議/音声会議のビジネス利用実態調査」(価格:189,000 円税込み、2012 年 12 月 20 日発行)。詳細は同社へ問い合わせ要。

## セミナー・展示会情報

&lt; 国内 &gt;

### 【見える"カレッジ"】Web 会議 + Polycom ~ タブレット活用もご紹介 ~

日時:2月20日(水)14:00~16:30

会場:ブイキューブ本社(東京都目黒区)

主催:ブイキューブ株式会社

詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/40>

### 【見える"カレッジ"】Web 会議 + Polycom ~ タブレット活用もご紹介 ~

日時:2月21日(水)14:00~16:30

会場:ブイキューブ本社(東京都目黒区)

主催:ブイキューブ株式会社

詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/41>

海外出張のモバイルコスト削減の“ツボ”教えます  
Wi-Fiを賢く利用する オンラインセミナーのご案内  
出張先からも簡単に参加可能、テレビ会議サービスのご案内

日時:2月27日(水)

第一回:11:00~12:00

第二回:14:00~15:00

※2回とも同じ内容で希望の回に参加。

会場:オンラインセミナー

主催:アルカディン・ジャパン株式会社

詳細・申込:

<http://app.response.arkadin.com/e/es.aspx?s=2144&e=23194&elq=529f18e8f73048eba342439994942b02>

## 定期レポート 電子ブック版

CNA レポート・ジャパンでは、2003 年から定期レポートを PDF 版で発行しておりますが、2012 年、カタログスクウェア株式会社にて、定期レポートの電子ブック版を製作していただきました。

これまで定期レポート(PDF 版:2003 年から)については、1号毎にファイルを開いて読む形でした。それに対して、電子ブック版では、複数の号が1冊にまとめられ雑誌のページをめくるように定期レポートが閲覧できるようになりました。また、記事内の検索もしやすくなりました。PC のほか、スマートフォン、タブレットから閲覧できます。

この電子ブック版は、これまでの1号単位の PDF 版と並行して提供します。

## CNA Report Japan アーカイブ 電子ブック版

2003 年-2012 年

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/)

2013 年

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/ebook/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/ebook/)

## カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

\*遠隔会議業界で長くお勤めされ、今年電子カタログ・ソリューションで起業された方が経営されている会社です。

\*この電子ブック版についてご意見等ございましたらよろしくお願いたします。橋本宛 [cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)

## 編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございます。

今週都内で開催された Cisco Connect 2013 会場で紹介されていた新刊本「コラボレーション革命 あなたの組織の力を引き出す 10 のステップ」ですが、近いうちに読んでみようと思っています。

<http://coin.nikkeibp.co.jp/coin/itpro-s/book/collaboration/>

次号もよろしくお願致します。 橋本啓介